

NETGEAR RangeMax 240 ワイヤレスルータ WPNT834 設定マニュアル

2006 by NETGEAR, Inc. All rights reserved. 2006 年 3 月 .

NETGEAR

NETGEAR, Inc.
4500 Great America Parkway
Santa Clara, CA 95054 USA

202-10166-01
2006 年 3 月

商標

NETGEAR は Netgear 社の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT は Microsoft 社の登録商標です。

その他のブランドや商品名は、各所有者に帰属する商標または登録商標です。

条件の明示

製品の内部設計、操作機能、安定性などを改善するため、NETGEAR は予告なく本書に記載された製品に変更を加える権利を有するものとします。

NETGEAR は本製品やここに紹介する回路配置などの使用または適用により派生する事柄について、一切の責任を追いかねます。

連邦通信委員会（FCC）規制：ラジオ周波数に関するお知らせ

この製品は既に FCC 規定第 15 項の Class B デジタル装置としてのテストを受け、その条件を満たしています。これらの条件は、本製品を住宅地域において操作する上で、有害な妨害から保護されるよう定められています。ユーザーは本製品から少なくとも 20 cm の距離を維持してください。

本装置はラジオ周波数を発生、使用、放射しますので、マニュアル通り正しくインストールされていない場合は有害なラジオ妨害を招く恐れがあります。但し、正しくインストールが行われている場合においても、絶対に妨害を招かないという保障はありません。本装置がラジオもしくはテレビ受信に対して妨害を招き、装置の電源を入れたり切ったりすることで、本装置が原因であることが明らかである場合は、以下の要領で妨害の修正を試みて下さい。

- ・ 受信アンテナを再編成するか、位置を移動する。
- ・ 本装置と受信機の間隔を広げる。
- ・ 本装置を、受信機が接続されているものとは別の電源に接続し直す。
- ・ ラジオ / テレビの専門技師に問い合わせる。

メモ： NETGEAR, Inc. により明示的に承認されていない変更や修正は、本装置の操作に関するユーザーの権限を廃棄することになります。

EN 55 022 適合性宣言

本 WPNT834 は Council Directive 89/336/EEC、Article 4a に基づき、ラジオ妨害発生に対する遮蔽措置がなされていることを証明します。EN 55 022 Class B (CISPR 22) の適用により適合性が申告されています。

製造者 / 輸入者証明

本 WPNT834 は BMPT-AmtsblVfg 243/1991 及び Vfg 46/1992 にて 約定された条件に基づき管制されていることをここに証明します。但し、既定に基づく一部の装置の操作（送信機のテストなど）は特定の規制により制限されることがあります。取り扱いの指示に従ってください。

Federal Office for Telecommunications Approvals は本装置の販売について通知を受けており、規定に基づき一連の適合性テストを実施する権利を 授権しています。

カスタマーサポート

本 WPNT834 付属のユーザー登録のお知らせを参照してください。

目次

NETGEAR RangeMax 240 ワイヤレスルータ WPNT834 設定マニュアル

第 1 章

本ガイドについて

読者、範囲、書式	1-1
----------------	-----

第 2 章

NETGEAR RangeMax 240 ワイヤレスルータを理解する

パッケージ内容	2-1
アンテナ	2-2
フロントパネル	2-2
リアパネル	2-4

第 3 章

ルータをインターネットに接続する

ワイヤレスルータ のインストールの準備を整えます。	3-1
まず、ワイヤレスルータ をインターネットに接続します。	3-2
コンピュータのワイヤレス接続の確立	3-6
トラブルシューティング	3-7
ワイヤレスルータ へのアクセス方法の概要	3-9
構成が適用された後にワイヤレスルータ にログインする方法	3-10
構成アシスタントをスキップする方法	3-11
インターネット接続の手動設定方法	3-11
スマートウィザードを使用する	3-14
NETGEAR 製品登録、サポート、ドキュメント	3-16

第 4 章

ワイヤレス接続とセキュリティを最適化する

パフォーマンス、配置、範囲ガイドラインの確認	4-1
適切なワイヤレスセキュリティの実施	4-2
ワイヤレス設定を理解する	4-3
基本的なワイヤレス設定を変更する前に集める情報	4-4

工場出荷時の初期設定	4-6
第 5 章	
ルータの基本的な機能	
管理者パスワードの変更	5-1
設定ファイルの管理	5-2
構成のリセットとバックアップ	5-3
構成の消去	5-4
ワイヤレスルータ ソフトウェアの更新	5-5
第 6 章	
よくある問題のトラブルシューティング	
基本機能	6-1
電源ランプが点灯しない	6-1
テストランプが消えない	6-2
LAN またはインターネット (WAN) ポートのランプが点灯しない	6-2
NETGEAR ルータ設定画面のトラブルシューティング	6-3
プロバイダとの接続のトラブルシューティング	6-4
ping ユーティリティを使った TCP/IP ネットワークのトラブルシューティング ...	6-5
ルータへの通信をテストする	6-5
PC からリモートデバイスへのパスをテストする	6-6
初期設定とパスワードのリセット	6-7
付録 A	
技術仕様	

第 1 章 本ガイドについて

この章では、本マニュアルの対象とする読者、範囲、約束事、書式などについて説明しています。

読者、範囲、書式

このリファレンスマニュアルは、読者がコンピュータ及びインターネットに関する基礎を備えていることを想定しています。チュートリアル情報については、付録および NETGEAR のウェブサイトをご覧ください。

本ガイドでは以下のフォントスタイルが使われています。

表 1-1. 本マニュアルで使われているフォント

<i>italics</i>	強調、書名、CD、URL 名
bold	ユーザー入力
SMALL CAPS	画面の文字、ファイル及びサーバ名、拡張子、コマンド、IP アドレス

このガイドでは、以下の書式で特殊メッセージを表示します：

	メモ：重要な情報などについてはこの書式が使われます。
	ヒント：この書式は、ユーザーの時間や手間を省くための手順を強調しています。
	警告：これらの注意事項を無視すると、装置の故障や破損につながる可能性があります。



危険： これは安全警告です。この注意事項に従わない場合、人体に傷害を与えたり、死傷する恐れがあります。

本マニュアルは、NETGEAR ワイヤレスルータ 向けに書かれています。

表 1-2. マニュアル出版詳細

製品バージョン	ワイヤレスルータ
マニュアル発行日	2006 年 3 月



メモ： 製品の更新については、NETGEAR のウェブサイトにてご利用いただけます：
<http://www.netgearinc.co.jp/products/wpnt834.asp>.

第 2 章 NETGEAR RangeMax 240 ワイヤレスルータを理解する

この章では、NETGEAR RangeMax 240 WPNT834 ワイヤレスルータ WPNT834 をご紹介します。

パッケージ内容

本製品には以下のアイテムが含まれています。

- WPNT834 ワイヤレスルータ
- 2dBi 取り外し式アンテナ x 1
- AC 電源アダプタ
- ルータ立て掛け用フット
- カテゴリ 5 (CAT5) Ethernet ケーブル
- セットアップ CD (以下を含みます) 説明書、アプリケーションメモ、その他の役立つ情報
- ユーザー登録のお知らせ (ハードウェア製品保証規定を含む)

万一、不足品、不当なアイテム、破損品がございました場合は、カスタマーサポート (フリーコール : 0120-921-080) までお問い合わせください。また梱包用のダンボールやその他の梱包材料は、ルータを修理などに送る際に必要となりますので、大切に保管してください。

アンテナ

本体は 3 本のアンテナを使用します。取り外し式アンテナを組み立て、ルータ背面の中央に取り付けます。3 本のアンテナは上に向けてください。



図 2-1

フロントパネル

ワイヤレスルータ のフロントパネルにはステータスランプが搭載されています。

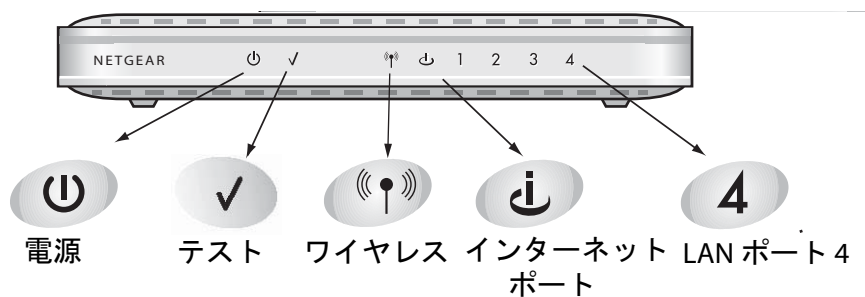


図 2-2

これらのステータスランプで接続を確認します。左から右へ、下表ではルータのフロントパネルにある LED を説明しています。

表 2-1. ステータスランプの説明

ラベル	アクティビティ	説明
電源	緑色に点灯	ルータは給電されています。
	オフ	ルータは給電されていません。

表 2-1. ステータスランプの説明

テスト	オン	ルータはパワーオン・セルフテストを実行しています。
	オフ	ルータはパワーオン・セルフテストを正常に実行しました。
	ゆっくり点滅	リセットボタンが押され、工場出荷時の設定にリセットしています。
ワイヤレス	オン	ワイヤレスインターフェースが有効です。
	オフ	ワイヤレスインターフェースが無効です。
	点滅	ワイヤレスネットワークを通してデータ通信中です。
インター ネット ポート	橙色オフ	モデムに Ethernet ケーブルが接続されていません。
	橙色オン	Ethernet ケーブルがモデムに接続されています。
	橙色点滅	モデムから他のネットワークデバイスへパケットの送受信が行われていますが、IP アドレスを受信していません。
	緑色オフ	IP アドレスを取得していません。
	緑色オン	IP アドレスを取得しています。
	緑色点滅	IP address を取得しネットワークデバイスへのパケット送受信が行われています。
LAN ポート	緑色	LAN ポートは接続されたデバイスとの間に 100 Mbps リンクを検出しました。
	赤色	LAN ポートは接続されたデバイスとの間に 10 Mbps リンクを検出しました。

リアパネル

ワイヤレスルータ ルータのリアパネルには以下のアイテムが搭載されています。

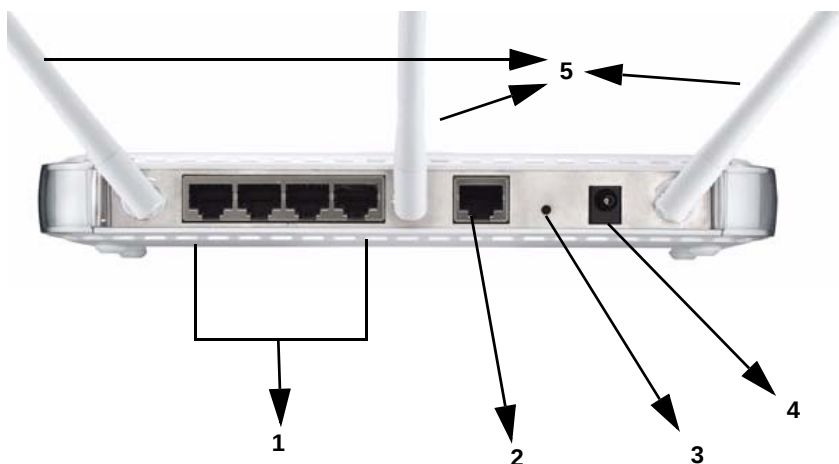


図 2-3

左から右へ、リアパネルには以下の機能が搭載されています：

1. 4 つの Ethernet LAN ポート
2. ルータとケーブル /DSL モデム接続用のインターネット (WAN) Ethernet ポート
3. 初期設定リセットボタン [既定の構成とパスワードにリセット](#)
4. [12 V DC @ 1A 出力](#) のための AC 電源アダプタジャック
5. アンテナ

第 3 章 ルータをインターネットに接続する

この章ではルータを LAN 上で設定しローカル・エリア・ネットワーク (LAN) とインターネットに接続する方法を説明しています。セットアップウィザードを使って、インターネットへアクセスするために ワイヤレスルータ を構成する方法を解説しています。また、この章に記載されているその他の方法で、インターネット接続を手動で構成することもできます。



メモ： セットアップ CD に含まれるスマートウィザードのインストールアシスタントを使用し、自動セットアップツールを活用してください。または、以下の指示に従いながら、ワイヤレスルータを手動でセットアップしてください。

下記の説明に従い、ルータを設定します。

ワイヤレスルータ のインストールの準備を整えます。

以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ・ PC に有線 LAN ポートを有すること。
- ・ プロバイダとの契約・工事が完了していること
- ・ インターネットに接続するための情報が揃っていること。

[PPPoE 接続の場合 (フレッツ・ADSL, B フレッツ等)]

- ・ ユーザー名
- ・ パスワード
- ・ DNS サーバーのアドレス (必要な場合のみ)

[DHCP による接続の場合 (YahooBB、CATV 等)]

- ・ コンピュータ名 (必要な場合のみ)

- ・ DNS サーバーのアドレス（必要な場合のみ）

[固定 IP による接続の場合]

- ・ WAN 側 IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ ゲートウェイアドレス
- ・ DNS サーバーの IP アドレス

またワイヤレスルータのインストールを始める前に、まずセットアップ CD の内容を把握してください。特に、コンピュータをネットワーク用に構成するためのマニュアルやチュートリアルをお読みください。

まず、ワイヤレスルータ をインターネットに接続します。

1. ワイヤレスルータ、コンピュータ、モデムの接続

- a. コンピュータの電源を切ります。
- b. ケーブルまたは DSL ブロードバンドモデムの電源を切り、取り外します。
- c. PC とモデムをつないでいる Ethernet ケーブル（図のケーブル 1）を確認します。

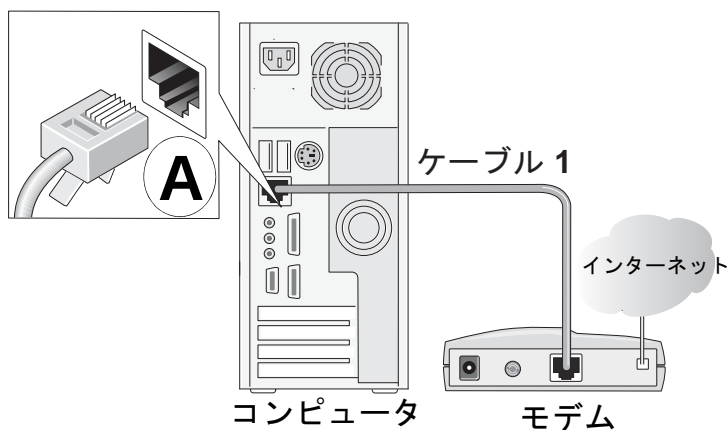


図 3-1

- d. コンピュータ側のケーブルのみ（上図の A 箇所）を取り外します。

- e. ワイヤレスルータ底部のラベルを確認します。インターネットポートを確認します。Ethernet ケーブルを、モデム（下図のケーブル 1）から ワイヤレスルータのインターネットポート（下図 B 箇所）にしっかりと接続します。

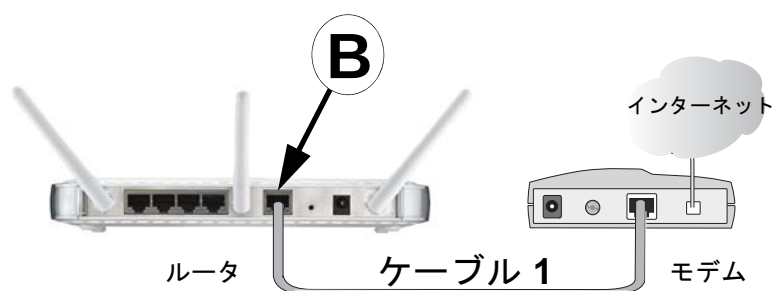


図 3-2



メモ：ワイヤレスルータを 4-1 ページの**パフォーマンス、配置、範囲ガイドラインの確認**の条件に合う場所に設置します。

- f. ワイヤレスルータ付属の青いケーブルを LAN ポート 4 など（図 C 箇所）のルータ上の LAN ポートにしっかりと接続し、もう片方をコンピュータの Ethernet ポート（図 D 箇所）に接続します。

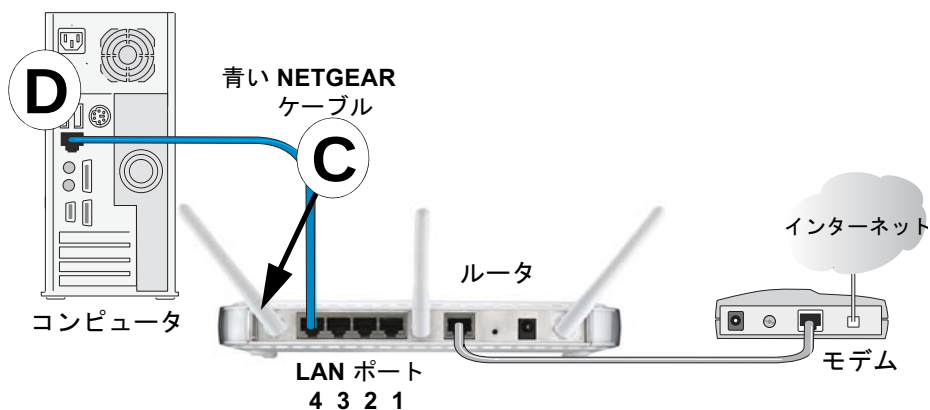


図 3-3

ネットワークケーブルの接続が完了し、ネットワークを再起動する準備ができました。

2. 正しい順序でネットワークを再起動してください。

	警告： ネットワークを間違った順序で再起動すると、インターネットへ接続できない場合があります。
---	--

- a. まず、ブロードバンドモデムのコンセントを差し込み、電源をオンにします。2 分ほどお待ちください。
- b. 次に、ワイヤレスルータ の電源アダプタをコンセントに差し込み、コードのもう片方を ワイヤレスルータ に接続します。1 分間待ちます。最後に、コンピュータを起動します。

	メモ： DSL ユーザーで、ソフトウェアや接続ツールを利用してインターネットにログインしていた場合は、このソフトウェアを起動しないでください。Internet Explorer の [ツール] メニューから [インターネット オプション]>[接続] タブへと進み、ここで [ダイヤルしない] を選択する必要がある場合があります。
---	---

- c. ワイヤレスルータ のステータスランプで接続状況を確認します。

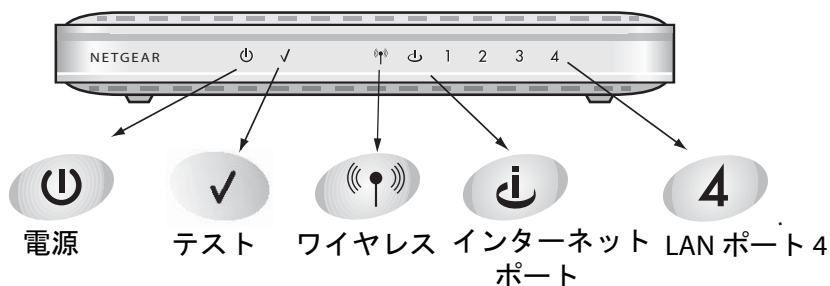


図 3-4

- d. ワイヤレスルータ のステータスランプをチェックし、以下を確認します。
 - ・ **電源：** 電源ランプは緑色に点灯します。点灯していない場合は、3-7 ページの [トラブルシューティング](#) をご覧ください。
 - ・ **テスト：** テストランプはパワーオン・セルフテストが完了すると消えます。ランプが消えない場合は、3-7 ページの [トラブルシューティング](#) をご覧ください。
 - ・ **ワイヤレス：** ワイヤレスランプはオフの状態となります。スマートウィザード構成アシスタントが起動し、ルータのワイヤレス機能を設定します。

- ・ インターネット：インターネットポートは点灯した状態となります。点灯していない場合は、Ethernet ケーブルがしっかりと ワイヤレスルータ のインターネットポートとモデムに接続されており、且つモデムの電源が入っていることを確認してください。
- ・ LAN: コンピュータが接続されている LAN ランプは、点灯している状態となります。LAN ランプが点灯していない場合は、コンピュータからルータへの Ethernet ケーブルがしっかりと接続されており、コンピュータの電源が入っていることを確認してください。

3. スマートウィザードを使用して ワイヤレスルータ を構成します。

- a. 先ほど設定した、Ethernet に接続された PC で、Internet Explorer や Netscape Navigator などのブラウザを立ち上げます。

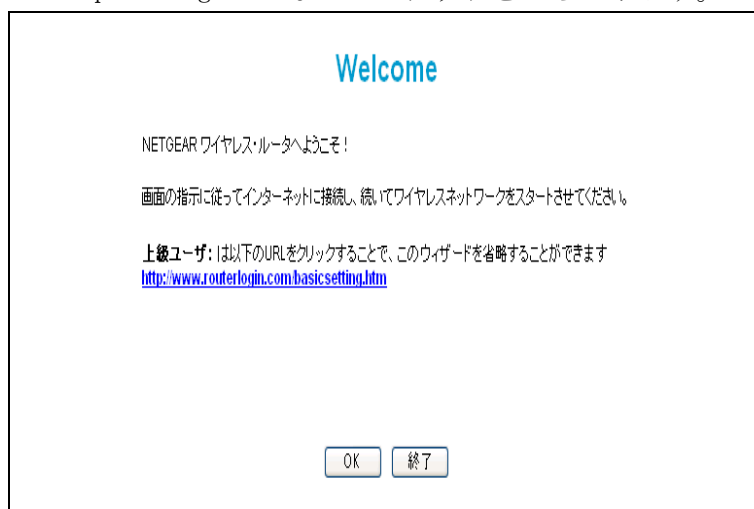


図 3-5

工場出荷時の状態では、ワイヤレスルータ は自動的に NETGEAR スマートウィザード構成アシスタントのメインページを表示します。

接続されない場合は、ブラウザのアドレスバーに <http://www.routerlogin.net> もしくは <http://192.168.1.1> と入力し、[Enter] キーを押します。または、この画面を無視し、この章の 3-11 ページの構成アシスタントをスキップする方法と 3-11 ページのインターネット接続の手動設定方法をご覧ください。

- b. [OK] をクリックしてください。プロンプトに従い、スマートウィザードの構成アシスタントを進め、インターネットに接続します。
- c. 画面の指示に従い、ワイヤレス機能を有効化します。

- d. ワイヤレスネットワークを有効化し、[次へ] をクリックして進み、[完了] をクリックして設定を完了します。インターネットへの接続に問題がある場合は、3-7 ページの [トラブルシューティング](#) をご覧になり、基本的な問題を修正してください。



メモ： スマートウィザードの構成アシスタントは、ルータが工場出荷時の状態にある場合のみ表示されます。ワイヤレスルータ を構成した後は、表示されません。この後は、常にルータに接続し、設定を変更することができます。設定を行うには、Internet Explorer を開き、<http://www.routerlogin.net> へアクセスしてください。画面で指示されたら、ユーザー名に **admin**、パスワード欄に **password** と入力します。いずれも小文字で入力してください。

これでインターネットへの接続が確立され、ワイヤレスルータ のワイヤレス機能が有効になりました。

次に、ワイヤレスコンピュータを構成します。

コンピュータのワイヤレス接続の確立

これでインターネットへの接続が確立され、ワイヤレスルータ のワイヤレス機能が有効になりました。次に、ワイヤレスコンピュータを構成します。

1. コンピュータのワイヤレスアダプタ設定の構成



ノートパソコンの
ワイヤレスアダプタ

図 3-6

NETGEAR, Inc. ワイヤレスアダプタは、利用可能なワイヤレスネットワークの一覧を表示します。ワイヤレスセキュリティが無効になっている場合、一覧からネットワークを接続し、接続します。

NETGEAR ワイヤレスアダプタ以外のデバイスについては、設定に符合するように構成を行ってください。既定のネットワーク名（SSID）を変更した場合は、ワイヤレスルータ で設定したものと同じ、正しいネットワーク名（SSID）を使用します。

ワイヤレス機能	既定値
ワイヤレスネットワーク名前 (SSID)	NETGEAR
WPA または WEP セキュリティ	無効



警告： ネットワーク名（SSID）は大文字と小文字を区別します。SSID に NETgear と入力しても認識されません。

2. ワイヤレス接続の確認

ワイヤレス接続を確認します。インターネットに接続するか、またはワイヤレスアダプタのあるコンピュータから ワイヤレスルータ にログインします。ワイヤレス接続に関する問題は、3-7 ページの[トラブルシューティング](#)をご覧ください。

これでインターネットとのワイヤレス接続が完成しました。4-2 ページの[適切なワイヤレスセキュリティの実施](#)の指示に従い、ワイヤレスセキュリティを導入してください。

トラブルシューティング

以下は、よくあるトラブルを解決するためのヒントです。

ネットワークは常に以下の順序で再起動してください。

1. ワイヤレスルータ、コンピュータの順に電源を切り、モデムの電源を切り、そして電源を抜きます。
2. モデムのコンセントを差し込み、電源をオンにします。モデムがネットワークと同期化されるのを待ちます。通常、2 分ほどかかります。
3. ワイヤレスルータ の電源を入れます。ルータがパワーオン・セルフテストを完了するのを待ちます。通常、1 分ほどかかります。
4. コンピュータの電源を入れます。

Ethernet ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。

- ・ モデムからの Ethernet がしっかりと接続され、モデムと ワイヤレスルータ の電源が入っていると、ワイヤレスルータ のインターネットステータスランプが点灯します。

- ・ コンピュータが Ethernet ケーブルで ワイヤレスルータ にしっかりと接続され、電源が入っていると、ワイヤレスルータ LAN ポートのステータスランプが点灯します。ワイヤレスルータ 底部のラベルは各 LAN ポートの番号を示しています。

コンピュータとルータのワイヤレス設定が完全に一致しているかどうか確認してください。

ルータとワイヤレスコンピュータのワイヤレスネットワーク名 (SSID) および WEP または WPA 設定は、完全に一致している必要があります。

コンピュータのネットワーク設定が正しいことを確認してください。

- ・ LAN とワイヤレス接続が確立されたコンピュータは、DHCP を通して同じ IP アドレスおよび DNS アドレスを取得している必要があります。この方法については、CD のチュートリアルをご覧ください。
- ・ 一部のケーブルモデムプロバイダは、アカウントに登録されたコンピュータに MAC アドレスの使用を要請することがあります。この場合、基本設定メニューの [ルータの MAC アドレス] セクションで、[このコンピュータ MAC アドレスを使用する] を選択します。これで、ルータは現在使用中のコンピュータの MAC アドレスを取得し、使用することができます。この場合、プロバイダに登録済みのコンピュータを使用している必要があります。[適用] をクリックして設定を保存します。正しい順序でネットワークを再起動してください。

ルータのステータスランプをチェックし、ルータが正しく動作しているかどうか確認します。

- ・ ルータの電源を入れた後、2 分以内に電源ランプが緑色に点灯しない場合、6-9 ページの既定の構成とパスワードにリセットの指示に基づき、ルータを再起動してください。
- ・ ワイヤレスランプが点灯しない場合、4-3 ページのワイヤレス設定を理解するの指示に従い、ワイヤレス機能が有効になっているかどうか確認してください。

ワイヤレスルータ へのアクセス方法の概要

下表は、ワイヤレスルータ の状態に基づき、ワイヤレスルータ にアクセスする方法を示しています。

表 3-1. ルータへのアクセス方法

ルータの状態	アクセスポイント	説明
出荷時の既定値 メモ: ワイヤレスルータ は既定値の状態出荷されます。また、リセットボタンを押すと、出荷時の既定値に戻すことができます。この機能については、6-9 ページの 既定の構成とパスワードにリセット をご覧ください。	スマートウィザードの構成アシスタントによる自動アクセス	ワイヤレスルータ に接続されたコンピュータのブラウザを開くと、ワイヤレスルータ は自動的にこのブラウザに接続され、構成アシスタントのメインページが表示されます。 ブラウザに ワイヤレスルータ URL を入力したり、ユーザー名とパスワードを入力する必要はありません。
	手動で URL を入力し、スマートウィザードの構成アシスタントをスキップする	スマートウィザードの構成アシスタントをスキップし、直接ブラウザのアドレスバーに http://www.routerlogin.net と入力し、[上級ユーザーは "ここ" をクリック] のリンクをクリックします。ユーザー名とパスワードの入力は必要ありません。 これで、工場出荷時の状態に戻っても、ワイヤレスルータを手動で構成することができます。ルータを手動で構成する場合、設定入力完了したら、[適用] をクリックして構成を完了する必要があります。これを忘れると、ルータに接続された PC のブラウザは、自動的にルータの構成アシスタントのメインページを表示します。
ルータの初期設定完了後	標準の URL を入力し、ワイヤレスルータ にアクセスします。	以下のいずれかのアドレスをブラウザのアドレス欄に URL を入力し、[Enter] をクリックして ワイヤレスルータ に接続します。 • http://www.routerlogin.net • http://www.routerlogin.com ワイヤレスルータがユーザー名とパスワードを入力するよう要請します。規定のユーザー名は admin、パスワードは password です。
	ワイヤレスルータの IP アドレスを入力し、ワイヤレスルータ にアクセスします。	IP アドレスをブラウザのアドレス欄に URL を入力し、[Enter] をクリックして ワイヤレスルータ に接続します。既定の IP アドレス変数は ワイヤレスルータ の既定の IP アドレスです。ワイヤレスルータ がユーザー名とパスワードを入力するよう要請します。既定のパスワードは password です。

構成が適用された後にワイヤレスルータ にログインする方法

1. ブラウザのアドレス欄に `http://www.routerlogin.net` と入力し、[Enter] をクリックして ワイヤレスルータ に接続します。

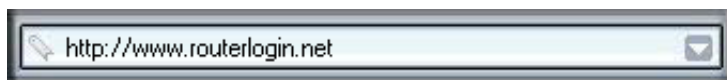


図 3-7

2. セキュリティを考慮し、ルータには独自のユーザー名とパスワードがあります。画面で指示されたら、ユーザー名に **admin**、パスワード欄に **password** と入力します。いずれも小文字で入力してください。パスワードの変更方法については、5-1 ページの[管理者パスワードの変更](#)をご覧ください。

	メモ： ルータのユーザー名とパスワードはインターネット接続にログインする際に使用するユーザー名やパスワードとは異なります。
---	--



図 3-8

ブラウザは設定のホームページを表示します。

ワイヤレスルータ がインターネットに接続されたら、設定ホームページの以下のリンクから、NETGEAR ウェブサイトの最新サポートやドキュメントを見ることができます。

- Web サポートメニューのナレッジベースリンクをクリックし、このルータのサポート情報を表示します。
- Web サポートメニューのドキュメントリンクをクリックし、このルータのドキュメントを表示します。

[ログアウト] をクリックしないまま、何も操作せずに 5 分間が経過すると、ワイヤレスルータ は自動的にユーザーをログアウトします。

構成アシスタントをスキップする方法

1. ワイヤレスルータが既定値の状態にあるときに、ブラウザのアドレス欄に `http://www.routerlogin.net` と入力するか、または [advanced users] リンクをクリックします。

ワイヤレスルータが既定値の状態にあるときには、ユーザー名とパスワードは必要ありません。

2. ブラウザは ワイヤレスルータ 設定のホームページを表示します。

[ログアウト] をクリックしないまま、何も操作せずに 5 分間が経過すると、ワイヤレスルータ は自動的にユーザーをログアウトします。

インターネット接続の手動設定方法

以下のメニューを使用してルータを手動設定することができます。また、前項のとおりセットアップウィザードに沿って設定を進めることもできます。

ログインを必要としないプロバイダ	ログインを必要とするプロバイダ
基本設定 お使いのインターネット接続はログインを必要としますか？ ☐ はい ☒ いいえ アカウント名 (必要時のみ) WPNT834 ドメイン名 (必要時のみ) インターネット IP アドレス ☒ プロバイダから自動割当 ☐ 静的 IP アドレスを使用 IP アドレス 0 0 0 0 IP サブネットマスク 0 0 0 0 ゲートウェイ IP アドレス 0 0 0 0	基本設定 お使いのインターネット接続はログインを必要としますか？ ☒ はい ☐ いいえ インターネットサービスプロバイダ PPPoE PPPoEセッション1 ログイン guest@guest.net パスワード ***** サービス名 (必要時のみ) アイドルタイムアウト (分) 5

図 3-9

3-11 ページの図 3-9 にある基本設定メニューを使って、以下の手動でルータの設定を行うことができます。

1. ブラウザのアドレス欄 `http://www.routerlogin.net` と入力し、[Enter] をクリックして ワイヤレスルータ に接続します。
2. セキュリティを考慮し、ワイヤレスルータ には独自のユーザー名とパスワードがあります。画面で指示されたら、ユーザー名に **admin**、パスワード欄に **password** と入力します。いずれも小文字で入力してください。
3. セットアップメニューの [基本設定] をクリックします。
4. インターネット接続がログインを必要としない場合、基本設定メニューのトップにある [いいえ] をクリックし、以下の手順に沿って設定を入力してください。インターネット接続がログインを必要としている場合、[はい] をクリックしてステップ 5 に進んでください。
 - a. アカウント名（ホスト名とも呼ばれます）とドメイン名を入力してください。これらのパラメータはメールやニュースサーバーなどのプロバイダのサービスにアクセスする際に必要とされる場合があります。
 - b. インターネット IP アドレス：
プロバイダがお使いの PC に固定（静的）IP アドレスを割り当てている場合、[静的 IP アドレスを使用] を選択してください。プロバイダから割り当てられた IP アドレスを入力してください。ネットマスクとゲートウェイ IP アドレスも入力してください。ゲートウェイはお持ちのルータが接続するプロバイダ側のルータです。
 - c. ドメインネームサーバ（DNS）アドレス：
ログイン時にプロバイダが自動的に DNS アドレスを転送しないことがすでに分かっている場合、[DNS サーバーを使用する] を選択し、IP アドレスとプロバイダのプライマリ DNS サーバを入力してください。セカンダリ DNS サーバアドレスが使用可能ならば、それを入力してもかまいません。



メモ：ここにアドレスを入力した場合は、設定を有効にするためにネットワーク上のコンピュータを再起動してください。

d. ルータの MAC アドレス：

ここではインターネットポートのルータで使用する Ethernet MAC アドレスを指定します。一部のプロバイダは、アカウントが最初に開かれた時に PC 上にあるネットワークインターフェイスカードの Ethernet MAC アドレスを登録します。これらはコンピュータの MAC アドレスからのトラフィックのみ受信することができます。この機能は、インターフェイスカードの MAC アドレスを、ルータに登録することにより、ルータをそのコンピュータに偽装して見せることができます。

MAC アドレスを変更するには、[このコンピュータの MAC アドレスを使用する] を選択します。これで、ルータは現在使用中のコンピュータの MAC アドレスを取得し、使用することができます。この場合、プロバイダに許可されたコンピュータを使用する必要があります。または、[この MAC アドレスを使用する] を選択し、ここに入力します。

e. [適用] をクリックして設定を保存します。

5. インターネット接続がログインを必要としている場合、以下の手順で設定を入力してください。



メモ： ルータの設定が完了すると、インターネットへアクセスするためにプロバイダのログインプログラムを実行する必要はなくなります。インターネットアプリケーションを起動した時に、ルータが自動的にログインしてくれます。

- a. お住まいのインターネットサービス条件をドロップダウンリストから選択してください。

基本設定	
お使いのインターネット接続はログインを必要としますか？	
☒ はい	
☐ いいえ	
インターネットサービスプロバイダ	
PPPoE	
PPPoEセッション1	
ログイン	guest@guest.net
パスワード	*****
サービス名 (必要時のみ)	
アイドルタイムアウト (分)	5

図 3-10

	メモ：ここに表示されていないプロバイダもあります。この一覧に表示されているものは、特殊な要求を持つものです。
---	--

- b. 画面は選択したプロバイダの設定要求により異なります。
- c. ご利用のプロバイダのパラメータを入力してください。
- d. [適用] をクリックして設定を保存します。[テスト] ボタンをクリックし、インターネットアクセスを検証してください。

スマートウィザードを使用する

スマートセットアップウィザードを使って、手動の構成を進めたり、またはインターネット接続を確認することができます。スマートセットアップウィザードは、ルータが工場出荷時の状態のときに表示されるスマートウィザードの構成アシスタントとは異なります。ワイヤレスルータ を構成した後、スマートウィザードの構成アシスタントは表示されません。

スマートセットアップウィザードを使って、手動の構成を進めたり、またはインターネット接続を確認するには、以下の手順に従います。

1. ブラウザのアドレス欄に <http://www.routerlogin.net> と入力し、[Enter] をクリックして ワイヤレスルータ に接続します。
2. セキュリティを考慮し、ルータには独自のユーザー名とパスワードがあります。画面で指示されたら、ユーザー名に **admin**、パスワード欄に **password** と入力します。いずれも小文字で入力してください。パスワードの変更方法については、5-1 ページの[管理者パスワードの変更](#)をご覧ください。



メモ：ルータのユーザー名とパスワードはインターネット接続にログインする際に使用するユーザー名やパスワードとは異なります。

ユーザー名とパスワードを入力すると、ウェブブラウザは ワイヤレスルータ を検出し、ホームページを開きます。

3. メインメニュー左上の [セットアップウィザード] をクリックします。
4. [次へ] をクリックし続けてください。必要に応じて、プロバイダの設定を入力します。
5. セットアップウィザードの最後に、[テスト] ボタンをクリックして、インターネット接続を確認します。インターネットへの接続に問題がある場合は、トラブルシューティングのヒント 3-7 ページの[トラブルシューティング](#) を使って基本的な問題を修正するか、または [第 6 章よくある問題のトラブルシューティング](#)を参照してください。

NETGEAR 製品登録、サポート、ドキュメント

お買い上げの製品を、<http://www.netgearinc.co.jp/registry> から登録してください。電話によるサポートサービスをご利用になる前に、製品登録を行う必要があります。

製品アップデートや Web サポートは、
<http://www.netgearinc.co.jp/products/WPNT834.asp> から常にご利用いただけます。

ワイヤレスルータ がインターネットに接続されている場合は、Web サポートメニューのナレッジベースまたはドキュメントリンクをクリックし、ワイヤレスルータ に関する情報やドキュメントを取得することができます。

第 4 章 ワイヤレス接続とセキュリティを最適化する

この章では ワイヤレスルータ のワイヤレス機能の構成方法について紹介しています。ワイヤレスネットワークを計画する際は、セキュリティレベルについても考慮しておく必要があります。また、ネットワーク速度を最大限に高めるために、ファイアウォールの物理的設置を選択してください。

パフォーマンス、配置、範囲ガイドラインの確認

ワイヤレス接続デバイスの操作距離や範囲はワイヤレスルータの物理的配置によって大きく異なります。ワイヤレスアダプタの反応時間、データ処理能力、ノートパソコンの電源消費量は設定方法により異なります。



メモ： これらの規定に沿ってお取り扱いにならない場合、ルータへのワイヤレス接続機能が劣化したり、接続不能となる場合があります。

最適な操作環境を得るため、ワイヤレスルータを次のように設置してください：

- ・ コンピュータを使用している場所付近。
- ・ ワイヤレスに接続されたパソコンが見通せる（壁がある場合を含む）、高い棚の上などの高所。
- ・ コンピュータ、電子レンジ、2.4 GHz コードレス電話など干渉源となる可能性のある機器から離れた場所。
- ・ 大きな金属表面から離れた場所。
- ・ 通気が遮断されない場所においてください。ルータを他の電気製品上に置いたり、ルータの上に物を置いたりしないでください。

ワイヤレス接続を確立するのに必要な作業時間はセキュリティ設定や配置により異なります。

適切なワイヤレスセキュリティの実施



メモ：室内では、コンピュータは最大 300 フィート（約 900 m）の範囲内で 802.11 b/g ワイヤレスネットワークを確立することができます。この許容距離は、自分たちのネットワーク外の部外者が簡単にネットワークにアクセスできる範囲でもあります。

有線ネットワークと異なり、ワイヤレスなデータ通信は壁を越えて互換性のあるアダプタを持つ全ての人に受信されることになります。このため、ワイヤレス装置にはセキュリティ機能が必須アイテムとなっています。ワイヤレスルータには効果的なセキュリティ機能が搭載されており、その詳細はこの章でご説明していきます。ニーズに合ったセキュリティ機能を採用してください。

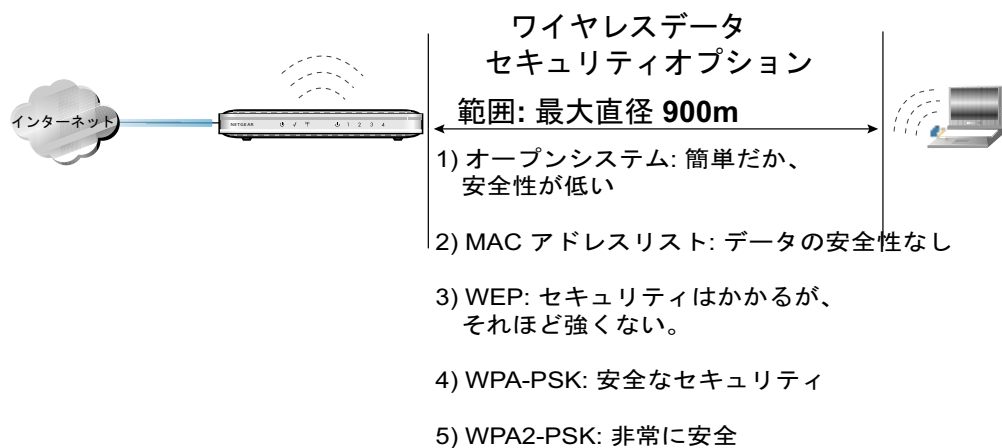


図 4-1

ワイヤレスネットワークの安全性を向上させるためには幾つかの方法があります。

- ・ **MAC アドレスに基づきアクセス制限をする：**信頼の置ける PC だけにアクセスを許可し、不明な PC は ワイヤレスルータに接続できないよう制限することができます。MAC アドレスフィルタリング機能はネットワークへの不当なアクセスを遮断することができますが、ワイヤレスリンクにおけるデータ配信は全面的に公開されます。

- ・ **ワイヤレスネットワーク名 SSID のブロードキャストを無効にする：**SSID ブロードキャストを無効にすると、正しい SSID を持つデバイスのみが接続可能となります。この機能を起用すると、Windows XP の標準機能や、無線 LAN ユーリティーティなどで無線 LAN アクセスポイントを検索しても、そのアクセスポイントが表示されなくなるものや、アクセスポイントが表示されても SSID が空白となるものがありますが、ユーザーがクライアント PC で SSID を設定しないと接続できません。したがって、利便性は損なわれますが、SSID が分からないと接続出来ない分、セキュリティは高くなります。
- ・ **WEP:**Wired Equivalent Privacy (WEP) データ暗号化機能がデータの安全性を確保します。WEP 共有鍵認証と WEP データ暗号化は、近年データ解読が可能になってきており、コンピューターの処理速度の高速化を考えると暗号の強度もそれほど高くありません。
- ・ **WPA-PSK** Wi-Fi Protected Access (WPA) データ暗号化は高いデータセキュリティを提供します。WPA-PSK は盗聴を遮断します。これは新しい基準であるため、一部のワイヤレスデバイスドライバやソフトウェアでの利用が制限されることがあります。
- ・ **無線 LAN を無効にする：**無線 LAN を無効にすると、ワイヤレスデバイスはルータと全く通信を取れなくなります。家族が在宅で有線接続を利用しており、本人が長期間家を空ける際などはこの方法を利用することができます。

ワイヤレス設定を理解する

ワイヤレスルータのワイヤレス設定を行うには、ブラウザのメインメニューで「ワイヤレス設定」をクリックしてください。

- ・ **名前 (SSID)：**SSID はワイヤレスネットワーク名としても知られています。32 桁までの英数字を入力します。1 つ以上のワイヤレスネットワークが存在する設定については、ネットワーク名 (SSID) ごとに、トラフィックが異なります。特定のネットワークに接続する場合は、そのネットワークの SSID を利用する必要があります。
- ・ **チャンネル：**この欄はどの周波数帯が使われるかを決定します。他のアクセスポイントとの間で干渉が見られる場合を除き、ワイヤレスチャンネルを変更する必要はありません。
- ・ **モード：**この欄は、データ通信プロトコルが使われるかを決定します。
- ・ **セキュリティオプション：**これらのオプションは、利用可能なワイヤレスセキュリティ機能です。下表は様々な基本的ワイヤレスセキュリティのオプションを記載しています。
- ・ **名前のブロードキャストの許可 (SSID)：**SSID ブロードキャストを無効にすると、正しい SSID を持つデバイスのみが接続可能となります。

- ・ **ワイヤレスアクセスポイントを有効にする**：ワイヤレスアクセスポイントを無効にすると、デバイスはワイヤレスルータと全く通信できなくなります。
- ・ **ワイヤレスカードのアクセスリスト**：“信頼の置ける PC のみ”のボタンが選択されていると、ワイヤレスルータ はワイヤレスステーションの MAC アドレスをチェックし、信頼の置けるコンピュータリストにあるコンピュータのみに接続を許可します。

表 4-1. 基本的なワイヤレスセキュリティオプション

項目	説明
自動	ワイヤレスセキュリティなし。
WEP	WEP は以下のオプションを提供します： ・ オープンシステム オープンシステムのネットワーク認証と 64 または 128 ビット WEP データ暗号化により、ワイヤレスルータ は 64 または 128 ビットのデータ暗号化を実行しますが、認証は実行されません。 ・ 共有キー 共有鍵認証は、SSID とデータを暗号化します。 暗号化の強度（64 または 128 ビットデータ暗号化）を選択します。キーを手動で入力し、パスフレーズボックスに単語または印刷可能な文字を入力します。手動で入力されたキーは大文字と小文字を区別しますが、パスフレーズ文字は大文字と小文字を区別しません。 メモ：すべてのワイヤレスアダプタ構成ユーティリティがパスフレーズキーの作成をサポートしているわけではありません。 ・ 自動
WPA-PSK WPA2-PSK	WPA 事前共有鍵は、認証を実行します。128 ビットデータ暗号化と暗号化キーのダイナミック変更を利用し、解読をほぼ不可能な状況にします。 [パスフレーズ] ボックスに、単語または印刷可能な文字グループを入力します。この欄では大文字と小文字を区別してます。 メモ：すべてのワイヤレスアダプタ構成ユーティリティが WPA をサポートしているわけではありません。さらに、クライアント側にはクライアントソフトが必要です。Windows XP には、WPA に対応するクライアントソフトが含まれています。ただし、ワイヤレスアダプタのハードウェアおよびドライバが WPA をサポートしている必要があります。

基本的なワイヤレス設定を変更する前に集める情報

ワイヤレス設定をカスタマイズする前に、この用紙を印刷し、以下の情報を記録しておきましょう。

- ・ **ワイヤレスネットワーク名前 (SSID)**：_____

SSID はワイヤレスネットワークを識別します。最大 32 文字の英数字で名前を付けることができます。SSID は大文字と小文字を区別します。ワイヤレスアダプタカードの SSID は、ワイヤレスルータ と一致しなければなりません。一部の構成ユーティリティ (WindowsXP 等) では、SSID の代わりに " ワイヤレスネットワーク名 " と呼ばれる場合があります。

- **WEP 認証を使用する場合**いずれかに○をつけてください。オープンシステム、共有キー、自動。

メモ: 共有キーを使用する場合、ネットワーク上のその他のデバイスも共有キーに設定されており、正しいキーで構成されていなければ、接続することができなくなります。

- **WEP 暗号化キーサイズ**いずれかを選択してください。64 ビット または 128 ビット。暗号化キーのサイズは、ワイヤレスアダプタと ワイヤレスルータ の間で同じでなければなりません。
- **データ暗号化 (WEP) キー**WEP データ暗号キーの作成には以下の 2 つの方法があります。いずれの方法を使う場合でも、以下にキーを記録しておきましょう。

- **パスフレーズ方法** _____ これらの文字は大文字と小文字を区別します。単語や文字を入力し、[キーを作成] ボタンをクリックします。すべてのワイヤレスデバイスがパスフレーズ方法に対応しているわけではありません。
- **手動方法**この欄では大文字と小文字を区別する必要がありません。64 ビット WEP の場合、10 桁の 16 進法数値を入力します (0-9、a-f の組み合わせ)。128 ビット WEP の場合、26 桁の 16 進法数値を入力します。

キー 1: _____

キー 2: _____

キー 3: _____

キー 4: _____

- **WPA-PSK 認証を使用する場合。**
 - **パスフレーズ:** _____ これらの文字は大文字と小文字を区別します。単語または文字を記入してください。WPA-PSK を使用する場合、ネットワーク上のその他のデバイスも WPA-PSK に設定されており、正しいパスフレーズで構成されていなければ、接続することができなくなります。

工場出荷時の初期設定

ワイヤレスルータ をお買い上げになった時点での工場出荷時の初期設定は以下の通りです。背面パネルのリセットボタンを押すと、これらの設定に戻すことができます。ワイヤレスルータ をインストールした後、以下の要領で設定をニーズに合わせて変更してください。

ワイヤレス機能	既定値
ワイヤレスアクセスポイント	無効
ワイヤレスアクセスリスト (MAC フィルタリング)	すべてのステーションを許可
SSID ブロードキャスト	有効
ワイヤレスネットワーク名前 (SSID)	NETGEAR
セキュリティ	無効



警告： ネットワーク名 (SSID) は大文字と小文字を区別します。SSID に NETgear と入力しても認識されません。

第 5 章 ルータの基本的な機能

この章では、ワイヤレスルータ のメンテナンス機能について説明しています。これらの機能は、ブラウザインターフェースのメインメニューでメンテナンスの見出しをクリックすると表示されます。この章に記載されていない、その他のメンテナンス機能は、ワイヤレスルータ のブラウザインターフェースから [ユーザーガイド] およびヘルプ画面にアクセスし、ご覧になることができます。

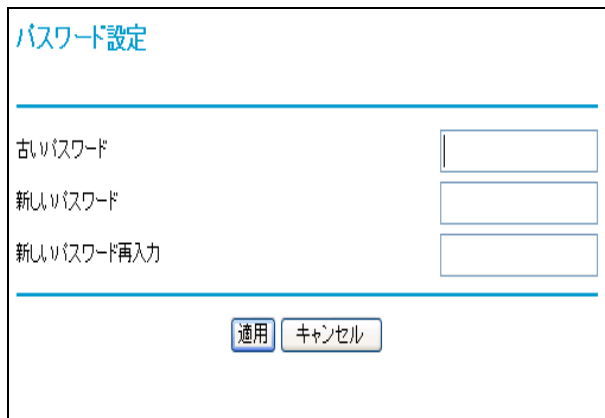
管理者パスワードの変更



メモ： ワイヤレスルータ のパスワードを変更する前に、5-2 ページの[設定ファイルの管理](#)の指示に従い、構成を保存してください。新しいパスワードを忘れてしまった場合、ワイヤレスルータ を工場出荷時の既定値に戻し、既定のパスワード (password) でログインできるようにリセットする必要があります。このときに ワイヤレスルータ のすべての設定もリセットされます。ワイヤレスルータ を工場出荷時の既定値にリセットした場合は、バックアップ構成ファイルから設定をリセットすることができます。

ワイヤレスルータ のウェブ設定マネージャの既定パスワードは **password** です。このパスワードを、より安全なパスワードに変更します。

ブラウザインターフェースのメインメニューで、メンテナンスの見出下にあるパスワード設定を選択すると、以下のメニューが表示されます。



The screenshot shows a web interface titled "パスワード設定" (Password Setting). It contains three input fields: "古いパスワード" (Old Password), "新しいパスワード" (New Password), and "新しいパスワード再入力" (Re-enter New Password). Below the fields are two buttons: "適用" (Apply) and "キャンセル" (Cancel).

図 5-1

パスワードを変更するには、まず古いパスワードを入力してから新しいパスワードを 2 度入力します。[適用] をクリックしてください。

設定ファイルの管理

ワイヤレスルータ の設定は ワイヤレスルータ の設定ファイルに保存されています。このファイルはユーザーの PC に保存（バックアップ）することができ、またユーザーの PC からの読み取り（リセット）や工場出荷時の状態にリセットすることもできます。

ブラウザインターフェースのメインメニューで、メンテナンスの見出下にある「設定のバックアップ」を選択すると、以下のメニューが表示されます。

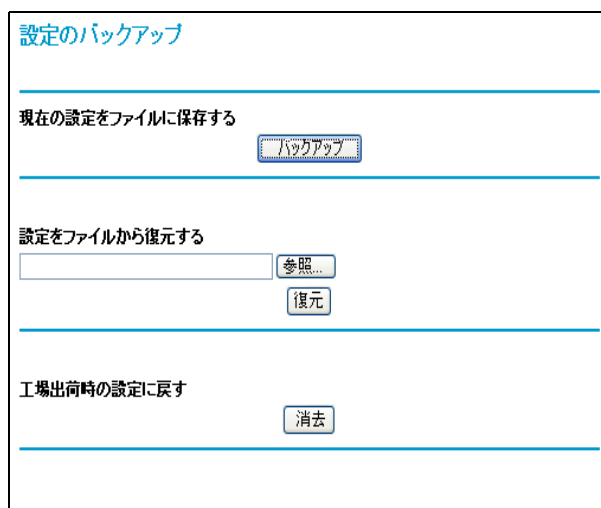


図 5-2

3 つのオプションが使用可能です。以下にオプションをご紹介します。

構成のリセットとバックアップ

設定のバックアップメニューのリセットとバックアップオプションは、ワイヤレスルータ の設定を含むファイルを保存したり、読み込んだりすることができます。

設定を保存するには、[バックアップ] ボタンをクリックしてください。ブラウザがワイヤレスルータ から設定ファイルを取得し、PC のどこにこのファイルを保存するかをたずねます。ファイルに名前を付けて（例：pacbell.cfg）保存してください。

保存された設定ファイルから設定を呼び出すには、PC のファイルへのパスを入力するか、またはブラウザで [参照] ボタンを押してファイルを参照します。ファイルが見つかったら、[復元] ボタンを押してファイルを ワイヤレスルータ に送信します。ワイヤレスルータは自動的に再起動します。



警告： 再起動プロセスを中断しないでください。

構成の消去



メモ： 構成を消去すると、工場出荷時の既定値にリセットされます。ルータが既定値にリセットされると、スマートウィザードの構成アシスタントが自動的にブラウザへと接続されます。ウィザードを通して設定を行うか、またはウィザードをスキップして 3-11 ページの[構成アシスタントをスキップする方法](#) の指示に従うこともできます。

必要に応じてワイヤレスルータ を工場出荷時の既定値にリセットすることがあります。出荷時の状態に戻すには、リセット機能を使用します。消去の後、ワイヤレスルータ のパスワードは **password** となり、LAN IP アドレスは 192.168.1.1 となり、ワイヤレスルータ の DHCP クライアントが有効になります。

設定を消去するには、[消去] ボタンをクリックしてください。

ログインパスワードや IP アドレスが分からないままルータを工場出荷時の状態にリセットしたい場合は、必ず ワイヤレスルータ 背面のリセットボタンをご利用ください。6-9 ページの[既定の構成とパスワードにリセット](#)を参照してください。

ワイヤレスルータ ソフトウェアの更新



メモ： ワイヤレスルータ ソフトウェアを更新する前に、ワイヤレスルータ バックアップユーティリティを使用して構成を保存してください。ワイヤレスルータ の更新は、ワイヤレスルータ の設定を工場出荷時の既定値に戻します。更新が完了した後、バックアップから設定をリセットすることができます。

ワイヤレスルータ のソフトウェアは FLASH メモリに保存されており、NETGEAR により新しいソフトウェア（ファームウェア）が提供されると更新することができます。更新用のファイルは NETGEAR のウェブサイトから取得することができます。更新用ファイルが圧縮（.ZIP ファイル）である場合、まずファイルを展開してから ワイヤレスルータ にアップロードします。行進用ファイルはブラウザから、ワイヤレスルータ にアップロードすることができます。更新用ファイルはブラウザから ワイヤレスルータ に送信することができます。



メモ： ワイヤレスルータ に新しいファームウェアをアップロードする際に使用するウェブブラウザは HTTP アップロードに対応する必要があります。NETGEAR は Microsoft Internet Explorer または Netscape Navigator 3.0 以上のブラウザを使用することを推奨しています。

ブラウザインターフェースのメインメニューで、[メンテナンス] の見出下にある [ルータのアップグレード] リンクを選択すると、以下のメニューが表示されます。

ルータのアップグレード

インターネットで新しいバージョンを確認する

☒ ログイン時に新しいバージョンを確認する

ハードディスクにあるアップグレード・ファイルを指定してください:

図 5-3

新しいファームウェアをアップロードするには：

1. NETGEAR のウェブサイトから新しいソフトウェアファイルをダウンロードし、展開します。
2. ルータに自動的に新バージョンを検索させる場合は、チェックボックスをクリックします。
3. ルータ更新メニューで [参照] ボタンをクリックし、更新用ファイルを参照してください。
4. [アップロード] をクリックしてください。



メモ： ソフトウェアを ワイヤレスルータ アップロードする際、ウィンドウを閉じたり、リンクをクリックしたり、新しいページを読み込むなどしてブラウザの邪魔をしないでください。ブラウザが邪魔を受けると、ソフトウェアが破損する恐れがあります。アップロードが完了すると、ワイヤレスルータ は自動的に再起動します。アップグレードプロセスには 1 分ほどかかります。

場合によっては、アップグレード後に ワイヤレスルータ を再構成する必要もあります。

第 6 章 よくある問題のトラブルシューティング

この章では、お使いの ワイヤレスルータ に関するトラブル解決の方法をご紹介します。問題や症状を提示した後に、問題の診断や解決方法を記載しています。

基本機能

ルータの電源を入れた後、以下のことが確認できます。

1. 初めて電源を入れると、電源ランプ  が点灯します。
2. 約 10 秒間の間に：
 - a. 電源ランプは緑色に点灯します。
 - b. 接続されているローカルポートの LAN ポートランプが点灯します。
 - c. インターネットポートが点灯します。

ポートのランプが点灯したら、接続デバイスへのリンクが確立されたことを意味します。LAN ポートが 100 Mbps デバイスに接続されている場合、ポートのランプが緑色に点灯しているかどうかを確認してください。ポートが 10 Mbps の場合、ランプは赤く点灯します。

上述のことが発生しない場合は、以下のセクションをご覧ください。

電源ランプが点灯しない

ルータの電源を入れても電源やその他のランプが点灯しない場合：

- ・ ルータへの電源コードが正しく接続されており、電源アダプタが有効なコンセントに接続されているかどうかを確認してください。
- ・ このルータ付属の NETGEAR により供給された電源アダプタをご使用かどうか確認してください。

現象が改善しない場合は、ハードウェアに問題がある可能性があります。テクニカルサポートへご連絡ください。

テストランプが消えない

ルータの電源を入れると、テストランプが 10 秒間ほど点灯後、消えます。テストランプが点灯し続ける場合は、ルータ内部でエラーが発生したと考えられます。

テストランプが 1 分以上経過しても消えない場合：

- ・ 電源を切ってから再度入れてみて、ルータが正常に戻るかどうか確認してください。
- ・ ルータの設定を工場出荷時の状態にリセットしてください。方法については、6-9 ページの[既定の構成とパスワードにリセット](#)をご覧ください。

現象が改善しない場合は、ハードウェアに問題がある可能性があります。テクニカルサポートへご連絡ください。

LAN またはインターネット (WAN) ポートのランプが点灯しない

Ethernet 接続が確立しても LAN ランプまたはインターネットランプが点灯しない場合は、以下を点検してください。

- ・ Ethernet ケーブル接続がルータ側とハブまたはコンピュータ側でしっかりと確立されているかどうかを確認してください。
- ・ 接続されたハブやコンピュータの電源が入っているかどうかを確認してください。
- ・ 正しいケーブルをお使いください。ルータのインターネットポートをケーブル /DSL モデムに接続する場合は、ケーブル /DSL モデム付属のケーブルをご使用ください。このケーブルはストレートケーブル、または Ethernet クロスオーバーケーブルなどです。

NETGEAR ルータ設定画面のトラブルシューティング

ローカルネットワーク PC からルータの NETGEAR ルータ設定画面にアクセスできない場合は、以下を点検してください。

- PC とルータとの間の Ethernet 接続が前のセクションで説明された通りに確立されているかどうかを確認してください。
- コンピュータの IP アドレスと DNS サーバアドレスの両方が DHCP から自動的に取得可能であることを確認してください。コンピュータの DHCP 構成方法については、CD のチュートリアルをご覧ください。



メモ： ご利用のコンピュータの IP アドレスが 169.254.x.x などと表示されている場合、このコンピュータで正しいネットワーク構成がされていないことを示します。最新の Windows や MacOS バージョンは、コンピュータが DHCP サーバに接続できない場合、169.254.x.x という IP アドレスを作成して割り当てることができます。こうして自動的に作成されたアドレスは 169.254.x.x というアドレスになります。お使いの IP アドレスがこの範囲内にある場合は、PC からルータへの接続を点検し、PC を再起動してください。

- ブラウザが Java、JavaScript、ActiveX に対応していることを確認してください。Internet Explorer をお使いの場合は、[更新] をクリックして Java アプレットを読み込んでください。
- ブラウザを終了してから再度立ち上げてください。
- 正しいログイン情報を使用していることを確認してください。ルータの URL は <http://www.routerlogin.net> または <http://www.routerlogin.com> です。工場出荷時の既定ログイン名は **admin**、パスワードは **password** です。いずれも小文字です。キーボード入力の際は CAPS LOCK がオフになっていることも確認してください。

ルータがウェブ設定インターフェースで加えた変更を保存できない場合は、以下を点検してください。

- 設定ページでは、別のメニューやタブに移動する前に [適用] ボタンを押して設定を確定してください。
- ウェブブラウザの [更新] ボタンをクリックしてください。変更は適用されたものの、ウェブブラウザが古い設定を表示していることがあります。

プロバイダとの接続のトラブルシューティング

お使いのルータがインターネットにアクセスできない場合、まずルータがプロバイダから WAN IP アドレスを取得できるかどうかを判断する必要があります。静的 IP アドレスを割り当てられている場合を除き、お使いのルータはプロバイダから IP アドレスを取得する必要があります。Web 構成マネージャでプロバイダへのリクエストが成功したかどうかを確認することができます。

WAN IP アドレスの確認：

1. ブラウザを立ち上げ、www.netgear.com など外部サイトを選択します。
2. ルータ構成のメインメニュー <http://www.routerlogin.net> へアクセスします。画面で指示されたら、ユーザー名に **admin**、パスワード欄に **password** と入力します。いずれも小文字で入力してください。
3. [メンテナンス] 部分で [ルータステータス] を選択してください。
4. [インターネットポート] の [IP アドレス] 部分に IP アドレスが表示されているかどうか確認してください。
0.0.0.0 と表示された場合、ルータはプロバイダから IP アドレスを取得していないことになります。

ルータがプロバイダから IP アドレスを取得できない場合、以下の方法でケーブル /DSL モデムが新しいルータを認識するよう設定してください。

1. ケーブル /DSL モデムの電源を切ります。
2. ルータの電源をきります。
3. 5 分待ってからケーブル /DSL モデムの電源を入れます。
4. モデムのランプがプロバイダと再度同期化したことを示した場合、再度ルータの電源を入れてください。
5. コンピュータを再起動してください。

それでもルータがプロバイダから IP を取得できない場合、以下のいずれかの問題が考えられます。

- ・ プロバイダがログイン情報（ログイン ID やパスワード）を必要としている可能性があります。
プロバイダに、PPP over Ethernet (PPPoE) やその他のタイプのログインが必要かどうか、問い合わせてください。
- ・ プロバイダがログインを必要としている場合、ルータのログイン名やパスワードが間違っていることが考えられます。

- ・ プロバイダがコンピュータのホスト名をチェックしている可能性があります。
[基本設定] メニューの [アカウント名] で、コンピュータにプロバイダのホスト名を割り当ててください。
- ・ ご利用のプロバイダが Ethernet MAC アドレスのみの接続を許可しており、PC の MAC アドレスについてチェックする場合があります。この場合は：
プロバイダに対し、あなたが新しいネットワークデバイスを購入し、ルータの MAC アドレスを使用したいことを伝えてください。
または
ルータが PC の MAC アドレスを使用するよう構成してください。この設定は [基本設定] メニューで行うことができます。

ping ユーティリティを使った TCP/IP ネットワークのトラブルシューティング

ほとんどの TCP/IP ターミナル・デバイスやルータには、目的デバイスへのリクエストパケットをエコーする ping ユーティリティが含まれています。デバイスはエコー応答で返答します。PC やワークステーションの ping ユーティリティを使うと、TCP/IP ネットワークのトラブルシューティングが極めて簡単になります。

ルータへの通信をテストする

PC からルータに ping することで、ルータへの通信をテストし正しく設定されているかを点検することができます。

Windows 95 以上の PC でルータを ping するには：

1. Windows のツールバーで、[スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
2. この欄で ping と入力した後、ルータの IP アドレスを入力します。以下の例の通りです：

```
ping www.routerlogin.net
```

3. [OK] をクリックします。

以下のいずれかのメッセージが表示されます：

```
Pinging <IP address> with 32 bytes of data
```

このパスが有効な場合は、以下のようなメッセージが表示されます：

```
Reply from < IP address >:bytes=32 time=NN ms TTL=xxx
```

このパスが無効な場合は、以下のようなメッセージが表示されます：

Request timed out

パスが正しく機能していない場合は、以下のいずれかの問題が考えられます。

- ・ 物理接続に問題があります。
 - LAN ポートの LED が点灯しているかどうか確認してください。LED が点灯していない場合は、6-2 ページの [LAN またはインターネット \(WAN\) ポートのランプが点灯しない](#)の指示に従ってください。
 - ネットワークインターフェースカードやワークステーションやルータに接続されたハブポート（あれば）に対応したリンク LED が点灯しているかどうかを点検してください。
- ・ ネットワーク設定が間違っています。
 - Ethernet カードのドライバソフトウェアと TCP/IP ソフトウェアがいずれもインストールされ、PC またはワークステーションが設定されているかどうかを確認してください。
 - ルータとワークステーションの IP アドレスが正しく、同じサブネットであることを確認してください。

PC からリモートデバイスへのパスをテストする

LAN パスが正しく作動していることが確認されたら、PC からリモートデバイスへのパスをテストしましょう。Windows の [ファイル名を指定して実行] メニューで、以下のように入力してください：

PING -n 10 <IP address>

<IP address> はプロバイダの DNS サーバなどのリモートデバイス IP アドレスです。

パスが正しく機能していれば、前セクションのような返答が表示されます。返答を受信できない場合：

- ・ お使いの PC が既定ゲートウェイとしてリストされているルータの IP アドレスを設定しているかどうかチェックしてください。PC の IP 設定が DHCP により割り当てられている場合、この情報は PC のネットワークコントロールパネルでは見ることはできません。[付録 B のネットワークアクセスのためにコンピュータを準備する](#)：で説明されているように、ルータの IP アドレスがデフォルトゲートウェイとして表示されているかどうか確認してください。
- ・ PC のネットワークアドレス（ネットマスクにより指定された IP アドレス部分）がリモートデバイスのネットワークアドレスと異なるかどうかを確認してください。

- ・ ケーブル /DSL モデムが正しく接続され、作動しているかどうかを確認してください。
- ・ ご利用のプロバイダが PC にホスト名を割り当てている場合、[基本設定] メニューのアカウント名部分にホスト名を入力してください。
- ・ プロバイダが、あなたのコンピュータ以外のすべての Ethernet MAC アドレスを拒否していることも考えられます。多くのブロードバンドプロバイダは、ユーザーのブロードバンドモデムの MAC アドレスからのトラフィックのみを許可することでアクセスを制限していますが、一部のプロバイダは、そのモデムに接続された 1 台のコンピュータの MAC アドレスへのアクセスを制限することもあります。この場合は、プロバイダに登録済みの MAC アドレスをルータに設定することで、あたかも許可済みのコンピュータに見せかけることが出来ます。設定は [基本設定] から行うことが出来ます。

初期設定とパスワードのリセット



メモ： 構成を消去すると、工場出荷時の既定値にリセットされます。ルータが既定値にリセットされると、スマートウィザードの構成アシスタントが自動的にブラウザへと接続されます。ウィザードを通して設定を行うか、またはウィザードをスキップして 3-11 ページの**構成アシスタントをスキップする方法**の指示に従うこともできます。

このセクションでは、ルータの管理パスワードを工場出荷時の既定値である **password** にリセットする方法を説明しています。現在の設定を消去し、工場出荷時の初期設定にリセットするには以下の 2 つの方法があります。

- ・ ルータの [消去] 機能を使用する (5-4 ページの**構成の消去**を参照)。
- ・ ルータ背面のリセットボタンを使います。この方法は、管理者パスワードや IP アドレスが分からない場合に使用します。

管理者パスワードや IP アドレスが分からないままルータを工場出荷時の状態にリセットしたい場合は、必ずルータ背面のリセットボタンをご利用ください。

1. テストランプが点灯するまでリセットボタンを押し続けてください (約 10 秒)。
2. リセットボタンを放し、ルータが再起動するのを待ちます。

ワイヤレスルータ が再起動しない、または電源が点滅し続ける、赤い点灯に変化したなどの場合は、本体自身が故障していることが考えられます。エラーが持続する場合は、ハードウェアに問題がある可能性があります。テクニカルサポートへご連絡ください。

付録 A 技術仕様

この付録では、ワイヤレスルータの技術仕様を提供しています。

ネットワーク・プロトコルと互換性

データとルーティング・プロトコル： TCP/IP、RIP-1、RIP-2、DHCP PPP over Ethernet (PPPoE)

電源アダプタ

北米：	入力：120V、60 Hz
イギリス、オーストラリア：	入力：240V、50 Hz
ヨーロッパ：	入力：230V、50 Hz
日本：	入力：100V、60/60 Hz
すべての地域（出力）：	12 V DC @ 1A 出力

動作環境

温度：	0° ～ 40°C (32° ～ 104°F)
湿度：	最大 90%、結露しないこと

電磁放射

以下の規定に対応： FCC Part 15 Class B

インターフェース仕様

LAN：	10BASE-T または 100BASE-Tx、RJ-45
WAN：	10BASE-T または 100BASE-Tx、RJ-45

ワイヤレス

周波数	2.4-2.5Ghz
エンコーディング：	802.11b:Direct Sequence Spread Spectrum (DSSS) 802.11g:Orthogonal Frequency Division Multiplexing (OFDM)
802.11 セキュリティ：	64 ビット、128 ビット WEP および WPA

